

e-ビーフNEWS 北の牧場から

January 2019

十勝の正月

みなさん あけましておめでとうございます

正月三が日は平穏な日が続きました。天気は快晴 抜けるような青空です。放射冷却で朝は13℃(マイナス)。肌を刺す寒さが朝を目覚めさせる日課です。朝散では油断をするとスッテンコロリ。年前に一寸振った雪がそのまま残りアイスバーンになっています。ニュースでは北海道の天気はいつも雪マーク。電話では「毎日雪で大変ですね」=あれは札幌ですと言いたいたいです…

先日、牧場途中で、真白な雪原を立派な角を持った2頭の雄鹿に遭遇。シャッターチャンスとカメラ探すが時すでに林の中に。仕方なく目に焼き付けました。何か冬の世界は、人と動物の棲む空間が近い気がして楽しみです



活動のお知らせ

1月25日(金) 新得 道総研 畜産試験場 18年度第2回肉牛飼養技術研修会予定

NEWSばか読み

- セブンイレブン 都内コンビニ店舗前の灰皿撤去 12/2:
- 帯広畜産大学 BMS瞬時格付システム開発 12/3:口田先生やったね
- 貿易統計1-10月輸入食肉過去最高ペースの175万t 12/3:知らずと輸入食肉浸透
- 農林水産省 17年ジビエ年間処理量1600t 昨対27%増 12/3:徐々に
- 農林水産省 停電時の搾乳集配流通計画作成
12/4:リスク対応はこれから
- WTO 第4四半期正解貿易98.6%と最低水準 12/4:主因は
- 11月子牛相場3ヶ月ぶりに2.5%高 12/4:異常相場続く
- 18年流行語大賞「そだねー」 12/4:北海道普通語
- ブラジル 米中貿易摩擦でオレンジから大豆に作物転換加速
12/5:変化早いね
- 岐阜 豚コレラ3例目銘柄豚でも殺処分 12/6:伝播性深刻
- 宮崎小林市 来年10月に和牛高校生サミット開催 12/6:次世代に続く
- 輸入野菜6年ぶりに90万t超え 12/7:定期的にならぬように
- イオン TPP11発効を先駆けし豪州産牛肉値下げ 12/7:商機に転換
- 道自給飼料協議会事例報告 牧草大麦の混播で増収
12/8:生産技術の多様性
- 18年度水稲作況やや不良の98%で確定
12/11:農産物にとって厳しい年
- 農研機構 地球温暖化で世界穀物4.6兆円損害試算 12/12:大きいね
- 井関農機 ロボットトラクター発表 大手3社そろそろ 12/13:幕開け
- 19年度予算畜産対策で子牛補給金大幅アップ和牛51万円で
12/13:繁殖有利

- 国会超党派で食品ロス削減議連発足 12/14:どのような向きに見極め
- JA全農 カナダに飼料穀物輸出施設建設
12/14:商社全農安定供給化施策
- COP24 パリ協定運用ルール採択 12/17:真剣な取り組みを
- 農林水産省 19年度予算2.4兆円スマート農業推進 12/18:転換期
- 米国農務省 米国産大豆在庫過去最高 日本へ 12/18:トランプ効果
- 世界経済フォーラム 18年度男女平等ランキング日本110位
12/19:まだまだ
- フィリピン産バナナに残留農薬多発で全ロット検査命令
12/20:輸入作物のリスク
- 米国時期農業法成立 収入保険や価格損失補償制度を継続
12/22:中身審議
- 18年度赤ちゃん出産数 最小の92万人 12/22:少子化深刻
- EU 使い捨てプラの使用を21年から禁止 12/21:対応はやいね
- 政府 IWC脱退方針 商業捕鯨再開へ
12/21:何と強気 どうゆう変化
- 自動運転で携帯電話可 道交法改正試案 12/21:危険リスクをどう評価
- 日本米粉協 アレルギー対応で需要2割増
12/24:どこにニーズあり気か
- 商社 豪州石炭権益売却 脱石炭化相次ぎ鮮明に 12/24:社会性重視
- 中国 家畜飼料関税下げ 米国産大豆関税上げの対応
12/25:世界の流通に変化
- 龍谷大 ビタミンBに発根促す効果 苗作りに有効
12/26:わからない効果がある
- 日本食肉格付協会 等級印盗難で1月から押印刷新 12/28:影響あるね
- TPP11発効 12/31:畜産影響力見極めよう

東京直近NEWS (12/30 Shi-REPORT)

ホルス

1月枝肉相場はやや下げ基調。頭数出回りは少ない状況変わらず。販売はスライス部位にシフトするも、気温が下がりにくいため大きく需要は伸びてこない。

12月は切落しとモモ部位の問い合わせがやや盛り上がり、ロース、肩ロースの需要と価格も上昇した。逆にスネは伸びず煮込みアイテムは不調に終わった。

頭数が少ない点と国産牛肉の底辺価格で一定の引き合いは維持しており、産地冷凍在庫は余裕はない状況。

経産牛

経産牛相場は高値安定。出回りも弱く、ガリ系も高値維持。ホルス同様に引き合いが強いわけではないが、頭数不足と肥育牛の高値相場から、赤身部位やバラ関係の引き合いは強まっている。挽き材は一定需要は堅調で推移しているが、各社集荷頭数の縮小で在庫に余裕はない状況になつた。

現状の相場状況と集荷頭数では、在庫も薄くなってきておりコストアップに直結しており値上げ可能性強まる。

左先生の畜産学Research NEWS

2018年は平成最後の年で、平成の30年間でどうであったかが新聞などの話題になりました。日本は世界経済の混乱や自然災害に翻弄され続けた時代という評価です。最近では米・中間の関税対決の経済に及ぼす影響や日・ロ平和条約交渉の行方、そして外国人労働力確保策のいわゆる入管法の改正案は生煮えのそしりを受けながらの通過など大事なことは先延ばしという不安が募ります。しかし、国内の憂さで暴動に至ることはありません。日本が70年間戦争をせずに過ごしたのはそういう国民性としか説明できません。平和と古き良き時代の価値観に浸りたいと多くの国民が望み、官をお上とし、民は経済で鎮めるといふ風潮が充満し、今の日本では改革や変革は難しいのです。そうした背景には周到な体制構築があります。一方、日本畜産では2020年東京オリンピック・パラリンピックを期に畜産物の海外進出展開を図る課題があります。SDGsの一つでもある持続的可能性のある農畜産物生産が強調され、JGAP認証の畜産物が食材調達基準に合致するとされ、JGAPや農場HACCPの取組、有機JAS認証、有機畜産物などが生産者の視野に入るようになりました。e-びーふNews61号の学術情報は以下の通りです。前回詳細な解説がなかった北肉研大会の解説をします。

1. 北海道肉牛研究会大会

2018年10月31日-11月1日於: 北斗市農業振興センター

ー日本版畜産GAPの概要と肉牛農場の取組みー

1) 基調講演: 持続可能な畜産のためのJGAP認証-日本版畜産GAPの概要(朝日光久:日本GAP協)

JGAPは農業生産工程管理を指し、食品の安全性と品質の向上、環境保全や消費者の信頼確保を旨としています。しっかりした日常の善良な家畜の飼養管理で農業生産ができれば難しいことではありません。

2) 事例紹介: 日本版GAPと農場HACCPの取得について(大野泰裕:大野ファーム)

Non-GMOで安全かつ安心な餌で健康な牛を育てて消費者に提供することが目的です。JGAP取得は2020東京五輪の食材納入がインセンティブです。

2. 畜産技術#763, 2018.12

1) 技術情報(1) 膨潤発酵飼料の給与が黒毛和種雌肥育牛の発育性および飼料効率に及ぼす影響(阿部正博,山形県農総研)

12か月齢の黒毛和種♀牛にNDFの多いフスマや大麦を混合し、100℃40分で膨潤化処理後発酵調製し、28か月齢まで市販の配合飼料の40%代替え給与しました。膨潤化発酵飼料を黒毛和種雌肥育牛に40%代替え給与しても消化性に優れ、枝肉成績や飼料効率に影響はなくDGが向上すると思われました。

2) 用語解説 飼料用米 (小川真如,(一社)農政調査委員会)

飼料用米とは当初から牛、豚、鶏などの飼料用目的に生産される米を指し、約半世紀前には無かった用語です。近年は水田活用の優れた飼料として政策的支援もあります。飼料用米は多収性専用品種の開発が全国的に普及し、北海道の「きたあおば」「たちじょうぶ」、東北の「みなゆたか」「べこごのみ」、北陸・関東・近・中・四の「夢あおば」「モミロマン」「ホスアオバ」、九州の「まきみずほ」「ミズホチカラ」などです。玄米利用が主体でトウモロコシの代替え利用され、牛の配合飼料代替率は20%程度です。

国産牛 NEWS

話題提供1.「欧州諸国の有機畜産とアニマルウェルフェア関連法制との位置付け」 全4回シリーズ②

立教大学経済学部 大山利男准教授



2. 有機畜産とは何か

(1) 近代畜産に対する批判と有機畜産

近代畜産が有機畜産運動を促した。有機畜産は、化学肥料や農薬を忌み、動物の健康と福祉を重視する。これは、動物の健康と福祉を重視する。これは、動物の健康と福祉を重視する。これは、動物の健康と福祉を重視する。

有機畜産は、動物の健康と福祉を重視する。これは、動物の健康と福祉を重視する。これは、動物の健康と福祉を重視する。これは、動物の健康と福祉を重視する。

(2) 有機畜産基準の役割と課題

JGAP認証基準は、動物の健康と福祉を重視する。これは、動物の健康と福祉を重視する。これは、動物の健康と福祉を重視する。これは、動物の健康と福祉を重視する。

内容を詳しく知りたい方は、データ送信しますので事務局までご連絡ください